ハイキング部だより

第186回

平成31年(2019年)3月31日(日) ～ 桜と山吹の井手の里を巡る

コース:JR三山木駅～玉水橋～JR京都線玉水駅～蛙塚～井手寺跡～
小野小町塚～地蔵院のシダレザクラ～玉津岡神社～井手町まちづくりセンター
～橘諸兄の碑～玉川の桜～JR三山木駅(約8キロ)

参加者　16名

3月31日(日)参加者16名で第186回ハイキングを実施しました。平成最後のハイキングは、晴でしたが風があって少し肌寒い天候となりました。

10時過ぎJR学研都市線「三山木駅」をスタート。木津川にかかる長い玉水橋を渡ってJR玉水駅を通って先ず蛙塚に寄りました。このあたりの蛙は夜に美しい声で鳴いたと言われ多くの和歌に詠まれました。井手寺跡で小休止のあと小野小町塚の前を通り高台にある地蔵院に到着、地蔵院のしだれ桜はちょうど満開でした。京都の円山公園にあるしだれ桜と親木同士が姉妹木と言われています。見上げるほどの樹齢280年の大木はどことなく風格を感じさせました。地蔵院から階段を上がったところの玉津岡神社からの眺めは良く井手町の街並み、遠くに京田辺が望めました。井手町まちづくりセンター椿坂で昼食をとり、橘諸兄の供養塔に立ち寄った後、玉川の両岸に咲く桜並木を出発点のJR三山木駅に向かって歩きました。桜の開花は遅れているようでしたが満開に近い樹もあり十分楽しむことができました。
なお、近畿益田会の役員でハイキング部員でもあった松本英二さんが3月20日に亡くなられたので橘諸兄の供養塔のところで皆で冥福を祈って黙祷しました。

第186回
桜と山吹の井手の里を巡る

日本六玉川の一つ
井手の玉川

桜、山吹かわずの里
井手の玉川

什手火山灰層

井手の玉川

井手町さくらまつり

第186ハイキングは下記の計画で実施しました

～　桜と山吹の井手の里を巡る　～

日　時：　平成31年3月31日（日）　10時　JR学研都市線「三山木駅」集合
近鉄奈良線「三山木駅」からすぐ

コース：　JR三山木駅～玉水橋～JR京都線玉水駅～蛙塚～井手寺跡～
小野小町塚～地蔵院のシダレザクラ～玉津岡神社～
井手町まちづくりセンター～橘諸兄の碑～玉川の桜～JR三山木駅（約8キロ）

日本六玉川の一つとして知られる「井手の玉川」は、平成の名水百選にも選ばれ堤防両岸に約500本の桜が植えられています。桜のあとはヤマブキが咲くことでも有名で、近くにはシダレザクラで知られる地蔵院があるほか史跡が数多く点在します。

地蔵院は、白鳳年間〈7世紀後半〉に創建された古刹で、本尊の地蔵菩薩は橘諸兄の持仏であったと伝えられています。当院のシダレザクラは、江戸時代中期に植えられたもので樹齢290年になります。京都円山公園のシダレザクラは当院の親株から株分けしたものであるとされており姉妹桜ということになります。奈良時代の皇族であり、歌人の橘諸兄は、井手町に住んでいました。また小野小町も晩年井手町に住み玉川堤をよく散歩したと伝えられています。

日本六玉川（むたまがわ）箏曲（そうきょく）の曲名
井手の玉川（山城）、野路の玉川（近江）、三島の玉川（摂津）、
調布の玉川（武蔵）、野田の玉川（陸奥）、高野の玉川（紀伊）